

浦安市の良識が問われている。

- ・ 今回の液状化にて浦安市も地震の被災地として多くの市民及び周辺の地域の人々に不安を与えた。
- ・ 春の地方統一選挙で県議選はできる状態ではないと千葉県では唯一選挙の実施を見送り、これが全国に紹介され日本各地及び海外からも多くのお見舞いが寄せられた。
- ・ 埋立地は地震に弱い。地震による液状化は必然との専門家の教えが実証された。
(工学者及び阪神大震災の例からも学んでいる)
- ・ 住みやすい浦安から住めず浦安にイメージダウン。しかも地図にも土地部面の高い地区での液状化被害が目立ちショックは入っており。
- ・ 液状化にかえてエレベーターの停止による避難のむづかしさ
高層階のゆれの巾着さから浦安離れカーする人っている
- ・ 被災者にはそれぞれ支援の手が打たれつつあるが、今後のリウ整備、
とくに当面道路その他の復旧には可成りの時間と経費を必要としている。
- ・ 更に今後の余震によって液状化カー十分けねんされている。

このように浦安市にとってかつてないきびしい異常時の中で市当局は「市民の絆、夜空へ広がる復興の和」として例年通り花火大会及び盆踊り大会を計画し、すすめていると云う。

伝統のお祭り程度ならともかく今日の状況の中で松茸市民の常識ではとても考えられない。

- ・ 周辺の市町村では、防災大会等は一切中止(自粛)にあり、
浦安市にはお見舞いを含め、温かい支援を差し延べられた
各地の皆様に対し、誠に申し訳ない。これが正直は市民の
感情です。
- ・ 義援金、お見舞金を含めて、財政的に余裕があれば、
少しでも東北の被災地を支援してほしいと思う。
- ・ それともさきの市長選のお礼の意味で、松崎市長のパフォーマンスだ
としたら、その政治姿勢は絶対に許せない。

浦安市には有識者は不在か、とくに市議会議員の良識に
機能しないのか、

今こそ市民一人ひとりが、今回の被災に思いを致し、
声なき声も、集まって声を上げよう。
浦安市の良識が問われている。

地震に強い街つくりをよめる会